

(一社) 日本地質学会2009年度第1回理事会議事録

2009年10月9日
一般社団法人日本地質学会
理事会 議長 保柳康一

日時：2009年9月3日（土）15：25—17：07

会場：岡山市コンベンションセンター（ママカリフォーラム） 405会議室

（岡山駅西口徒歩3分，岡山市北区駅元町1-14 電話086-214-1000）

出席者：（執行理事 12名）宮下純夫会長 高木秀雄・佃 栄吉副会長 渡部芳夫 井龍康文 上砂正一 小嶋 智 斎藤 眞 向山 栄 藤本光一郎 藤林紀枝 矢島道子

（理事 22名）阿部国広 荒戸裕之 大友幸子 川端清司 沢田順弘 柴 正博 新妻信明 保柳康一 堀 利栄 松本俊幸 三宅康幸 脇田浩二安藤寿男 伊藤谷生（4時半から） 岡 孝雄 小山内康人 佐々木和彦 高橋正樹 滝田良基 松岡 篤 村山雅史 吉川敏之

（事務局）橋辺菊恵

欠席者：（執行理事 5名）石渡 明 岩森 光 倉本真一 坂口有人 久田健一郎

（理事 17名） 足立勝治 磯崎行雄 磯野 清 卜部厚志 永広昌之 北里 洋 狩野謙一 木村学 公文富士夫 紺谷吉弘 芝川明義 中川光弘 松原典孝 丸山茂徳 山路 敦 山根 誠 渡辺真人

- * 定足数 28/56 出席者 33/56（最後の議事は34/56）で成立
- * 書記の選出 安藤寿男，佐々木和彦の両評議員が書記に選出された。

執行理事会報告

*6月から8月の執行理事会議事録参照

執行理事会審議事項（おもなもの）

渡部常務理事により，以下の事項および6月の理事会メール審議についての確認と説明があった。

- 1) 執行理事の担当について
- 2) 法人代議員，役員選挙実施に向けての準備
- 3) 選挙細則案および選挙管理委員会規則案の策定
- 4) 選挙管理委員候補者の選出
- 5) 公益法人認定申請について検討
- 6) 法人における中期の事業計画の検討
現在検討中につき12月以降に報告したい。
- 7) 選挙管理委員会による代議員，役員選挙の告示原稿案等の検討
- 8) 各賞選考規則案および各賞選考委員会規則案の策定（執行理事会メール審議）

理事会メール審議事項（確認と追認）

1. 選挙管理委員として次の方々の選出を承認した。
太田 亨（早稲田大） 川上俊介（アースアプレイザル） 川村喜一郎（深田研）中島 礼（産総研） 松田達生（防災研究所）
*互選により委員長は，松田達生会員に決定。
2. 選挙細則および選挙管理委員会規則を承認した。
* 修正追加：細則13条（役員選挙）の削除およびそれに伴う繰り上げと新13条に3項を追加することを追承認した。

審議事項

1. 選挙の詳細についての報告

渡部常務理事より，一般社団法人における初めての選挙の実施について報告と説明があった。

- 1) 正・副会長候補者の意向調査実施案内文

法人法により，会長（代表理事）は理事の互選により選出することになっている。地質学会としては，正・副会長に立候補の意思のある方について，会員全体の意向を尊重して選出するこ

ととして、理事会での選出に先立ち、会員の意向調査のための投票を行うこととした。

立候補の意思のある方は代議員選挙の際に、あらかじめマニフェストを提示することを義務付けることとした。

2) 選挙のシステム概説、選挙スケジュール

選挙管理委員会において作成された、代議員および役員選挙告示文および実施要領についての確認、とくに今選挙からは役員の選挙は2年に一度の一斉改選であること、各地方支部区から代議員に1位当選した場合には、無投票で支部選出の理事となることなどが説明された。

選挙の告示日は9月10日とし、News誌9月号に掲載される。

- ・質疑応答：再任に関する規程はあるかとの質問に対し、定款、規則等で再任を妨げる条文は設けていない。立候補制ということで対応できるのではないかと、との答えであった。
- ・以上については拍手をもって承認された。

2. 公益法人化について

- ・藤本理事より、一般社団法人の公益認定についての最近の動向ならびに地質学会としての公益認定申請の状況について、法人化作業委員会ならびに執行理事会での検討内容が報告された。

新法律の下での公益社団法人は、公益目的事業が50%以上を要し、遊休財産保有の制限、認定後に万一公益認定の取り消しとなった場合には、公益事業取得資産を同種の団体に贈与しなければならないなど、会計面での制約が大きい、また、これらに対する行政面からの指導監督も厳しいことから地質学会のような学術団体にとっては不利な面も多くある。一方、非営利型に徹した一般社団法人の場合（地質学会は対応）、法人税や寄付の免税がないなど課税面での不利はあるが、収益事業に対する税率は同じであることや、公益法人のような制限はなく、学会として主体的運営ができる。また、地質学会が旧来の公益法人化を目指した際の目的等については、現行の一般社団法人においても十分に実現し得ることがわかっている。

地質学会としては、公益認定申請についてはよく状況を見極めながら、あまり急がずに、当面は一般社団法人としての運営をしっかり行ってゆくこととしたいとの説明があった。

- ・以上について、公益法人のリスクや一般法人との比較、他団体などの現状と対応などについて質疑応答があった後、執行理事会提案の方針を承認した。

3. 各賞選考規則案と選考委員会規則案について

渡部常務理事より、任意団体の規則と基本的に大きな変更はないこと、各賞選考委員会規則に選考検討委員会と利益相反防止の項目を入れたことなどが説明された。

- ・質疑応答：小藤賞に関連し、短報以外にも報告、討論など、小藤賞の対象になりうるものが見受けられるのではないかと意見があった。

小嶋副編集長より、最近短報より少し長いだけの論説もいくつか見受けられる。賞の運営を含めて短報そのものについては編集委員会でも議論する必要があり、一部議論が始まっている、とのことであった。

- ・提案は拍手で承認された。短報に関する指摘は今後の検討課題とする。

4. 支部の法人移行について

- ・向山会計担当理事より、以下のことについて説明があった。

1) 支部の運営について、来年度からは一般社団法人としての活動との整合性を確保するため、事業および予算については、本部と一体化を図る。

2) 支部への補助金支出ということではなく、年度ごとの事業計画に対して予算化する。

3) 実際の会計処理については今後会計委員会で検討し、支部に知らせる。

4) 9月6日に支部長会議が予定されているので、以上のことを説明、報告をする。

- ・今後の会計処理や現状の各支部の会計等について質疑応答の後、基本的な方針として承認された。

5. その他

1) 利益相反防止規則（案）について

法務委員会案について渡部常務理事から説明があり、基本的に承認された。

2) リーフレット出版細則（案）について（企画出版委員会：藤林）

企画出版委員会担当の藤林理事より、目的や趣旨によって3種類（一般リーフレット、国立公園

地質リーフレット、国立公園地質リーフレット・たんけんシリーズ) のリーフレット出版細則を策定したこと、リーフレットの企画毎に編集委員会を設けることなどが説明された。いずれも拍手をもって承認された。

* 予定された審議事項のうち「地質災害への対応」については、時間切れのため次回に送ることとした。

以上

この議事録の正確を期するため、次の通り署名する。

2009年10月9日
一般社団法人日本地質学会
会長（代表理事） 宮下純夫
署名人 理事